



図書館だより 5月

四日市メリノール学院図書館

今年のゴールデンウィークは、どのように過ごしましたか？

新年度に入り、図書館にも新しい本が入りました。芥川賞・直木賞作品はもちろん、現在テレビで放映されているドラマの原作本もありますので、図書館をのぞいてみてくださいね。

メリノールの図書館は、進路資料室でもあります。だから、進路資料を調べる人も来館します。高3生の中には、進路について具体的な大学や学部名が決まりつつある人もいますようです。大学案内などを見に来る人、先輩たちの入試報告を見に来る人が増えてきました。また、高1.2年生の中にも進路に関することを調べに来る人がいます。大学や学部について調べると共に、今のうちから本を読むクセ（長文を読むクセ）を付けておくと、受験する頃には「読解力」がしっかりついていると思います。「どんな本を読んだら良いのか」「どんなものから読み始めたら良いか」迷っている人は、一度司書に相談してくださいね。図書の学年・クラス貸出も計画中です。

今月のおススメ

今回紹介する本の初版は、15年ほど前です。出版されてからテレビドラマ化されていますし、最近も映画化された作品です。内容としては、親子の情愛じょうあい えがが描かれています。いろいろな出版社から出ている「中・高校生に読んでほしい本」のリストにも挙げられている本です。

出版されたのが15年前、小説の舞台は昭和30年代末以降なので、生徒のみなさんが読むと、自分の身に置きかえて、登場人物きょうかんに共感することが難しいところもあるかもしれません。しかし、主人公の親子をとりまく、人々との交流の様子を読むと、「人は1人では生きていけない」と改めて感じます。

人は生きていく中で様々な人とつながり、時には助け、助けられ、楽しいこともあれば、嫌なこと、辛いこともあります。それを重ねて成長していくのかな、と感じる1冊です。「とんび」という書名の意味も読んだ後、わかると思いますよ。

「とんび」 重松 清/著

KADOKWA/刊